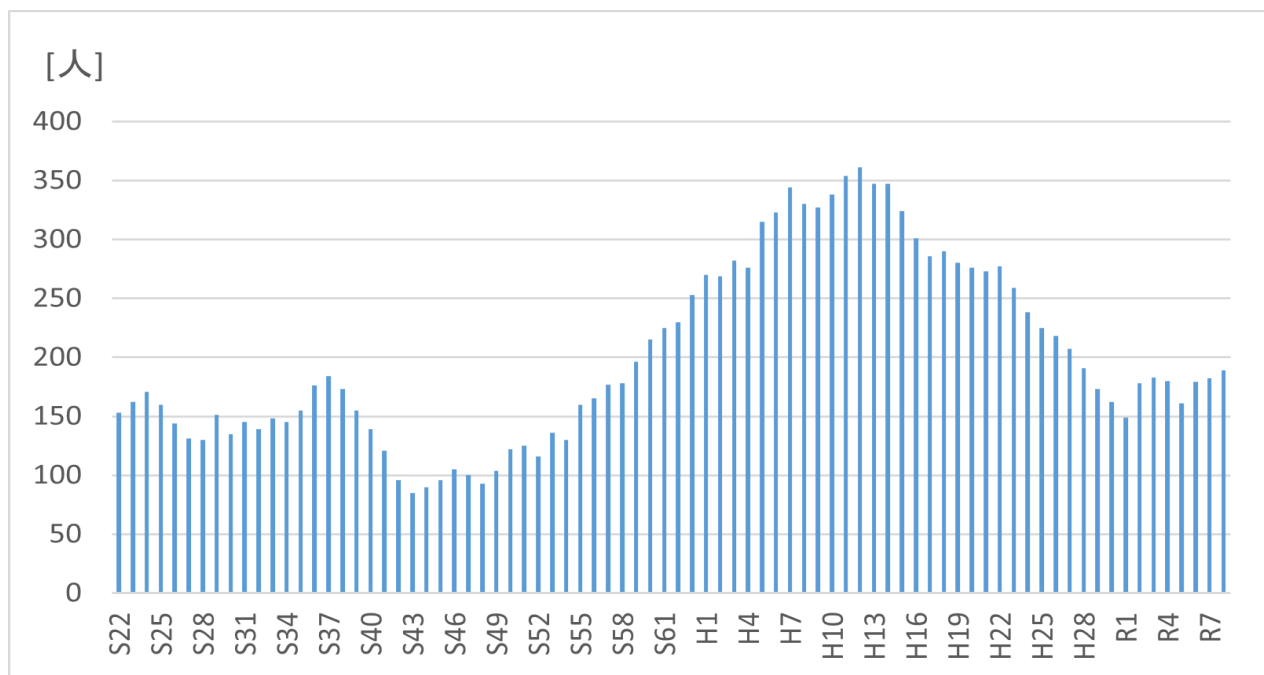


生徒数・学級数の変遷

年度	生徒数	学級数	年度	生徒数	学級数	年度	生徒数	学級数
S22(1947)	1 5 3	5	S47(1972)	1 0 0	3	H9 (1997)	3 2 7	9
S23(1948)	1 6 2	5	S48(1973)	9 3	3	H10(1998)	3 3 8	1 0
S24(1949)	1 7 1	5	S49(1974)	1 0 4	3	H11(1999)	3 5 4	1 0
S25(1950)	1 6 0	5	S50(1975)	1 2 2	4	H12(2000)	3 6 1	1 0
S26(1951)	1 4 4	4	S51(1976)	1 2 5	4	H13(2001)	3 4 7	9
S27(1952)	1 3 1	3	S52(1977)	1 1 6	4	H14(2002)	3 4 7	9
S28(1953)	1 3 0	3	S53(1978)	1 3 6	4	H15(2003)	3 2 4	9
S29(1954)	1 5 1	4	S54(1979)	1 3 0	4	H16(2004)	3 0 1	9
S30(1955)	1 3 5	4	S55(1980)	1 6 0	5	H17(2005)	2 8 6	9
S31(1956)	1 4 5	4	S56(1981)	1 6 5	5	H18(2006)	2 9 0	9
S32(1957)	1 3 9	4	S57(1982)	1 7 7	6	H19(2007)	2 8 0	1 0
S33(1958)	1 4 8	4	S58(1983)	1 7 8	6	H20(2008)	2 7 6	1 0
S34(1959)	1 4 5	4	S59(1984)	1 9 6	6	H21(2009)	2 7 3	1 1
S35(1960)	1 5 5	4	S60(1985)	2 1 5	6	H22(2010)	2 7 7	1 1
S36(1961)	1 7 6	5	S61(1986)	2 2 5	6	H23(2011)	2 5 9	1 0
S37(1962)	1 8 4	5	S62(1987)	2 3 0	6	H24(2012)	2 3 8	8
S38(1963)	1 7 3	5	S63(1988)	2 5 3	7	H25(2013)	2 2 5	8
S39(1964)	1 5 5	6	H1 (1989)	2 7 0	8	H26(2014)	2 1 8	8
S40(1965)	1 3 9	5	H2 (1990)	2 6 9	9	H27(2015)	2 0 7	8
S41(1966)	1 2 1	4	H3 (1991)	2 8 2	9	H28(2016)	1 9 1	8
S42(1967)	9 6	3	H4 (1992)	2 7 6	9	H29(2017)	1 7 3	7
S43(1968)	8 5	3	H5 (1993)	3 1 5	1 0	H30(2018)	1 6 2	7
S44(1969)	9 0	3	H6 (1994)	3 2 3	1 0	R1(2019)	1 4 9	7
S45(1970)	9 6	3	H7 (1995)	3 4 4	1 0	R2(2020)	1 7 8	8
S46(1971)	1 0 5	3	H8 (1996)	3 3 0	9	R3(2021)	1 8 3	8

[illegible]

生徒数の変遷



湯山中学校は、昭和22（1947）年に誕生。当時は温泉郡湯山村立湯山中学校であった。昭和30（1955）年、市町村合併によって松山市立湯山中学校と名称を変更した。

創立当時の生徒数、学級数を表にした。学校要覧で簡単に確認できると思ったが、甘い考えで、さまざまな資料から、現時点で、最も信頼できると思われる数値を記している。すぐには分からなかった昭和26・30・33年度の学級数についても、学校文集「いでゆ」（PTA誌「いでゆ」よりも以前に、10数年存在）から確定できた。

創立初年度は153人（5学級）でスタート。当初から10数年は、150人前後（130～180人程度）で推移している。校歌ができた昭和25（1950）年度の生徒数は160人、「集う我らが百六十」という歌詞で誕生したという話と、ぴったり一致する。昭和35年度が「百五十」、36年度が「百八十」という歌詞だったことも、生徒数を見れば、なるほどという感じである。昭和39年度は、前年度より生徒数が20人近く少ないのに1クラス増えている。この年から45人学級になったためであろう。その後、生徒数は減少し、湯山中学校の歴史の中で、最少は昭和43年度の85人（3学級）。昭和55年頃からは増え始め、最大は平成12年度の361人で、学級数は3倍以上の10。湯の山ニュータウンができたのが昭和56年で、次第に住人が増えたと考えられる。そして、平成14年頃からは再び減少している。平成2年度からは40人学級になり、前年より1クラス増えた。平成18年度から特別支援学級ができ、学級数の最大は平成21・22年度の11クラスである。

エピソード

Episode I

生徒数や学級数を確認する際、主に学校要覧、教育計画、学校沿革誌を見たが、古い年度になると学校要覧や教育計画は存在しない。沿革誌は、創立当時からあるが、生徒数や学級数は記されていない年度もあった。また複数資料に記載があっても、数が一致していないことが、かなりあった。一年間のどの時点の生徒数を記したかで違う場合もあるようだ。近年の教育計画の生徒数は5月1日の時点を書き記しているが、そうでない年度の場合もあった。また沿革誌の記載は、卒業時や年度末のものもあった。修業台帳、湯山誌稿、愛媛県職員録（学校にない昭和二十年代のものは県立図書館にあった。）も参考にして確認した。卒業生の方に聞いた年度もある。

Episode II

昭和39年以前は、50人学級が主体と考えられるが、それより多いときもあったらしく、少なくとも昭和38年度の2年生は、52人で1クラスであった。4月当初からそうであったのか、転入があつてかは定かではないが、学校要覧に、7月24日現在という形で学級編制表が記されている。